

第6回 第1分科会会議録（概要）		場 所	戸塚特別出張所 地下一階会議室
日 時	平成17年9月13日（火） 午後4時～午後6時	記録者	【学生補助員】
		責任者	区事務局（菊地・並木）
会議出席者：31名 （区民委員：25名 学識委員：1名 区職員：5名）			
配布資料			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 第5回会議録 ・ 第5回グループ発表内容（模造紙） ・ 第一分科会 今後の進め方について ・ 資料提供希望・・・学校評議員制度、スクール・コーディネーター制度 			
■進行内容			
<ol style="list-style-type: none"> 1 今後の進め方について 2 グループ討議 3 グループ討議の口頭報告 4 事務連絡等 			
■会議内容			
【発言者】●：区民委員、◎：学識委員、○：区職員			
1 今後の進め方について			
◎： 今日も残暑厳しい中ですが、皆さんも発表に向けてがんばっていきましょう。本日のスケジュールですが、黒板に書きましたように4時10分程度まで、私のほうから今後の進め方についてご説明をさせていただきます。その後、4時10分から5時30分まで、グループ討議をしていただきます。討議については、後でご説明させていただきますが、お配りした「第1分科会 今後の進め方について」にありますように今後のグループ発表に向けての討議をしていただきたいと思います。5時30分から45分までは、いつものように今日の討議内容の発表ではなく、次回以降の発表に際して、各グループで「かなりまとまってきたぞ」とか、「ちょっと課題が足りないので、別な日にグループで集まりたい」といったことを報告していただきたいと思います。この報告で、皆さんが各グループの進捗状況が分かりますので、情報を共有されてください。最後に、5時45分から6時まで、次回についてということで、今後の分科会の日程等のことも含めて、ご相談させていただきたいと思います。それでは、まず「第1分科会 今後の進め方について」の資料を見てください。			

これは、前回、各グループの仮リーダーの方が分科会の後に残っていただいて、第1分科会の今後の進め方をご相談した内容をまとめたものです。その中で、第7回9月26日はグループ討議を1時間とってあります。討議が終わりましたら、15分間で担当のグループが発表をしていただき、その後の30分間で委員の皆さん全体で、その発表についての討議をしていただこうと思っています。最後に5分間程度で、学識委員から総評という形でコメントをいたします。このパターンで全部のグループ発表を繰り返し行なっていこうと思っています。発表の順番は第7回の9月26日に、地域グループ。第8回、10月の第1回目の分科会で、環境グループと親教育グループと青少年グループ。第9回、10月の第2回目の分科会で、小中学生グループと乳幼児グループ。というような発表の順番になっていますので、皆さんご準備をよろしくをお願いします。

また、前回、仮リーダーの皆さんが残っていただいた際に、グループの中だけの話し合いだけでなく、第1分科会全体としての話し合いの機会を持ちたいというご意見がありました。次回からのグループ発表の後の全体での討議を30分と長く持ちましたのは、こうした意見を踏まえたものです。私自身も、これは大事なことだと思います。ゆくゆくは、第1分科会としての取りまとめを他の分科会の委員さんと共有していくという作業が残っていますので、議論の方向性を定めてどう持っていくかというものをこうした場で、繰り返し練習していくことが必要だと思っています。また、30分の討議の中でもご自身の意見が十分伝えられない場合は「意見・提案カード」をお願いします。

今後のことですが、発表が終わった後、中間のまとめを発表するまでの間は、どうするのかといったことは、各グループのリーダーの方と相談しながら、決めていこうと思っていますので、現状では事務局や学識委員からご提示できるものではありません。

グループ発表についてですが、いくつかの項目を押さえた形で発表をしていただきたいと思います。黒板に書きましたように、第一に、課題です。自分たちのグループが、このテーマで検討した理由を含めてお願いします。第二に、その課題についての現状分析です。第三に、問題の抽出です。第四に、その課題に対する目指すべき姿です。第五に、解決策です。第六に、その解決策をどのような形で進めていくのかを具体的なものとして提示して下さい。

リーダーについてですが、前回の最後に残られた方は、あくまでも仮のリーダーですから、本日の討議の間に各グループで選出していただいて、本日の進捗状況の報告は、そのリーダーの方からお願いしたいと思います。

その次に、本日の分科会が始まる前に、事務局と打合せを行ないました。その際に、今までの各グループの検討テーマや検討状況を確認しました。その中で、テーマや検討課題として少し足りないものが、いくつかありました。こうしたテーマは、

是非、学識委員として提案していきたいと思います。それが「働き方の見直し」と「3才～5才児の居場所」です。この二つのテーマは、今後、中間のまとめを行っていく中で検討していかないと、全体のまとめに間に合わないものと考えられますので、集中的に検討していきたいと思います。お忙しい中で申し訳ありませんが、現在のグループ討議とは別に、このテーマについても検討してもらいたいと思うのですが、いかがでしょうか。「働き方の見直し」は、新宿区次世代育成支援計画では挙げられているのですが、働き方の見直しをしていかなければ、子育ての時間がとれないことが現状としてあります。新宿区にある企業には、デパートなど女性が多く働く企業がたくさんあります。そこで、新宿区の特色としても「働き方の見直し」をテーマとして、企業に向けてどういった提案ができるのかといった検討をしていただきたいのです。もうひとつが、乳幼児グループの中では多少出てきていた「3才～5才児の居場所」です。特に幼稚園児の居場所です。幼稚園は帰宅時間が早いので、幼稚園から帰ってきた後の居場所が、なかなか無いというのが現状です。子育て支援センターは、0才から2才ぐらいのお子さんを対象としていますので、幼稚園児の年代に対する居場所をどう解決していくかという課題があります。この二つのテーマを集中的に、5～6人程度で検討していけたらと思います。グループのテーマとは別に討議されたいと思う方は、本日の討議の最中に、私のところにおいていただければと思います。乳幼児グループからは、「3才～5才児の居場所」についてはグループ討議の課題としてもかまわない旨の意向もあるようですが、それですとグループ討議の内容が、これに特化してしまうので、後で、グループの皆さんと協議させていただきます。

それでは、前回に引き続き、グループ討議を始めていただきます。討議の中で、リーダーも合わせてお決めください。

2 グループ討議

3 各グループからの進捗状況の発表

○： お約束の時間となりましたので、各グループのリーダーの方は、前に出てきていただいて、本日の進捗状況の報告をお願いいたします。それでは、グループ発表の順番で報告をしてください。最初に、地域グループからお願いします。

●： (地域)

地域グループの高山です。地域グループの発表は、9月26日には発表ですので、発表の仕方について検討し、資料作りも少し進めました。発表の仕方については、課題と現状ということで、区にお願いして現状の子どもに関する区内の施設の配置図を皆さんにお配りして、現在の子育てに必要な施設が区内でどのような形で分布しているのかを説明した後に、こういう施設の中でいろいろな問題がでてきているという

課題を模造紙に箇条書きで抽出します。その後、目指す姿、解決策としていくつか挙げて発表するつもりです。なお、準備不十分ですので、9月20日にグループのメンバーは集まって、完全な形に準備をして26日に望みたいと思います。

○： ありがとうございます。では、環境グループお願いします。

●： (環境)

環境グループの宇野でございます。本日は、子育ての核となるような公園を整備したいという内容で発表することを決めました。次回の分科会で課題等の項目の打合せをするということまでが決まりました。

○： ありがとうございます。では、親教育グループお願いします。

●： (親教育)

親教育グループの柏木です。今日はリーダーが休んでおりますので、私が代わりに報告させていただきます。親教育というのは大変難しい問題でして、皆さんも親ですから、その皆さんをどうやって教育しようかということです。うちのグループの一番重要なものは、「お母さん業」「お父さん業」とは何ですかということをしっかりまとめないといけないと思います。親の認識は個々に違うわけですから、親の認識を皆さんに知っていただくには、これからどうすればいいのかということが課題となるわけです。解決のひとつの提案としては、「おせっかい会」を作って、皆さんに集まっていただく。ただ、何かを開催しても、集まってくれる方は良いのですが、来ない方をどうするかが、これからの大きな課題となります。私たちのグループで、一番訴えたいのは、子どもが家で身につけたことは生涯生き続けるということです。皆さんも親から教えてもらったことは、今でも身につけていると思います。あとは、いろいろな悩みがあるのですが、文部科学省からでている11の課題をひとつずつ集めて地域の集会所で皆さんや行政の方に集まっていただいて、話し合っていくということで今日の話し合いは終わりました。

○： ありがとうございます。次は、青少年グループお願いします。

●： (青少年)

青少年グループの陣出です。今回も人数の少ない中で、二人でがんばりました。問題が多く出まして、薬物、性の問題、ニート、若者の自立支援、区内だけでなく、新宿区に訪れる若者が危険を運んでくるといった問題、こうした現状を整理したところで本日も終わりました。杉山先生のフォローがあるなか、うちのグループとしては新宿区に青少年が集まれる拠点を造っていきたい。青少年が夢を持って活動できる場として、地域の小学校などの空き教室を利用して、青少年の自立を促していききたいということです。もうひとつは行政側の規制という点もグループとしてアプローチしていかなければならない課題と思っています。この2点に対しても、今後つめていききたいと思います。

○： ありがとうございます。次は、小中学生グループお願いします。

●：(小中学生)

小中学生グループの野原です。今日はあらかじめ区の教育委員会事務局に頼んでおきました校長先生との懇談ができるということが成果です。新宿区の校長会長と副校長会長2名の合計3名が、私たちの相手となりました。大いに議論をしたいと思っています。日程は、9月29日で、場所は西戸山小学校でおこないます。学校長は西戸山小、四谷第三小、市谷小です。なぜ、懇談するかというと、小学校の先生に子どもを預けるわけですが、10年先の小学校に子どもを預ける親にとって、小学校や学校教育はどうあったらいいのかといった親の考えを箇条書きに19項目に絞って、校長先生に質問しようと思いますので、当日はどういったお答えがあるのか楽しみに思っています。発表に関しては、新宿区次世代育成支援計画の27ページにあります「特色ある学校づくり」、「スクール・コーディネーターの活動」が知りたいということで、区から資料をいただいたわけですが、スクール・コーディネーターの活躍する場をどうやって作っていかなければならないのかとか、特色ある学校づくりでは地域の我々がどのように協力していけばよいのかといったことを提言として出していければと考えています。

○：ありがとうございます。最後に、乳幼児グループをお願いします。

●：(乳幼児)

乳幼児グループの小原です。問題が多岐に渡っているので、テーマをひとつに絞ることはあきらめ、幼稚園と保育園、児童館や居場所、働き方の見直し、これらを全部含んだ課題と4つの課題の現状や解決策を考えています。それから、先週、私たちのグループは保育園や幼稚園を重点的に見学してきました。次回は児童館と乳幼児の居場所を見学する予定です。こうして見学してきたことで、幼稚園や保育園の現状の課題や解決策が出始めているところです。次回の見学を踏まえて、乳幼児の問題を討議していこうと思います。全体的なところでは、子育て支援が親のニーズになんでも応える、やってあげる現状は、やり過ぎていると考えます。親が主体的になって子育てをしないで、何かしてくれることを待っている。または、やってくれるところに流れていく傾向にあります。したがって、もう一度、新宿区全体で考えていかなければならないと考えました。子どもがいない大人や子育てが一段落した大人も市民として、次世代を育成する義務があるということを認識してもらうような何かを考えなければならぬと思いました。とにかく、社会全体で子育てという意識が生まれないと、どんな施策を行っても始まらないという結論になりました。

4 事務連絡等

○：ありがとうございました。それでは、事務局から10月の日程が決まりましたので、口頭でご報告いたします。10月の第1回目は、10月20日木曜日、午後2時から4時、場所は新宿区役所第一分庁舎7階研修室です。第2回目は、10月31日月曜日、

午後6時30分から8時30分、場所は同じく新宿区役所第一分庁舎7階研修室です。10月の日程がなかなか決まらずにご迷惑をおかけしましたが、この日程でよろしくお願いたします。では、杉山先生、今日の総括をよろしくお願いたします。

- ◎： 今日はどうもありがとうございました。いよいよ発表が近づいてきて、皆さんの発表がどのようなものか楽しみです。やはり発表というものは技術が必要で、パソコンでパワーポイントを利用するとか、時間配分をどうしようとか、他人が理解しやすい発表にさせていただきたいと思います。ですから、発表の口火を切る地域グループは責任が重いと思います。発表の工夫をしていただいて、他のグループの参考となるような、皆さんが学び合うような良いプレゼンテーションが出来たらと思います。今日は各グループのリーダーの方に少し残っていただいて、次回からは会の進行役もリーダーの方々の持ち回りでやっていただけたらというご相談をしたいと思います。それから、事務局にお願いしたいのですが、新宿区次世代育成支援計画の中に「新宿区次世代育成協議会」を設置するとありますので、この分科会の検討とずれても困るので、現在の状況を次回、5分程度で報告していただきたいと思います。また、「子どもと家庭に関する施策を総合的に進める体制の整備」として子ども家庭サポートネットワークについても情報提供をお願いします。このお話を聞いておけば、この協議会やネットワークで行なわれていることを別の機関で行なうという解決策を提示することはないと思ったからです。
- ： 皆さん今後、発表に際して準備があらうかと思いますが、グループで集まって作業をする場所は、事務局にリーダーの方を通して仰っていただければ手配いたしますし、区役所地下1階の「新宿区民会議 交流の場」も利用できます。また、資料などのコピーも事務局に依頼していただければコピーしますので、遠慮なく仰ってください。
- ◎： 今日、他の分科会のことでも事務局の方から伺ったのですが、皆さん精力的に活動されているようですので、皆さんも頑張ってください。それでは、本日はありがとうございました。